

随意契約結果一覧

契約の名称	契約年月日	契約の相手方	契約金額(円)	契約の相手方を選定した理由	摘要
令和4年度(2022年度)在宅医療・介護連携サービス事業委託業務	令和4年(2022年)5月24日	札幌市中央区北3条西7丁目1番地第1水産ビル4階 一般社団法人北海道介護支援専門員協会	2,775,000	令和4年(2022年)4月6日に開催した在宅医療・介護連携サービス事業者の審査の結果、最良の提案者として選出されたこと。 (契約方法の根拠) 地方自治法施行令第167条の2第1項第2号 北海道財務規則運用方針第3節関係1の(2)	

注1 この様式は、公表する年度の「契約の相手方の単
2 課等との「在宅医療・介護連携サービス事業委託業務」の相手方の場合は、
3 「契約の相手方の単
4 「契約の相手方の単
5 年度を、合
6 月ごとに、「課
7 等、適
8 区
9 宜
10 名」の
11 欄
12 には、
13 「月
14 額」等
15 と記載
16 し、「摘
17 要」欄
18 に「単
19 価契
20 約」等
21 と記載
22 すること
23 と。
24 根拠を記
25 載するこ
26 と。
27 根拠を記
28 載すること。
29 根拠を記
30 載すること。
31 根拠を記
32 載すること。
33 根拠を記
34 載すること。
35 根拠を記
36 載すること。
37 根拠を記
38 載すること。
39 根拠を記
40 載すること。
41 根拠を記
42 載すること。
43 根拠を記
44 載すること。
45 根拠を記
46 載すること。
47 根拠を記
48 載すること。
49 根拠を記
50 載すること。
51 根拠を記
52 載すること。
53 根拠を記
54 載すること。
55 根拠を記
56 載すること。
57 根拠を記
58 載すること。
59 根拠を記
60 載すること。

入札参加者指名選考過程等一覧表

1 指名選考委員会開催年月日 令和4年2月4日 10時00分から12時10分まで

2 指名選考委員会開催場所 道庁本庁舎6階 保健福祉部 少子高齢化対策監室

3 委員の出席状況

委員長	保健福祉部長	三瓶 徹	出・欠
委員	少子高齢化対策監	京谷 栄一	出・欠
委員	次長	鈴木 一博	出・欠
委員	地域医療推進局長	岡本 収司	出・欠
委員	健康安全局長	古郡 修	出・欠
委員	感染症対策局長	佐賀井 祐一	出・欠
委員	福祉局長	渋谷 文代	出・欠
委員	高齢者支援局長	吉田 充	出・欠
委員	子ども未来推進局長	竹澤 孝夫	出・欠
委員	技監	廣島 孝	出・欠
委員	総務課長	板垣 臣昭	出・欠

4 説明員等の状況

説明員	介護運営担当課長 杉本 曜子
補助者	
補助者	

書記	総務課課長補佐 佐々木 隆行
----	----------------

5 指名選考過程等 令和4年2月4日開催分 高齢者保健福祉課 所管

契約の名称	契約の種類	指名選考基準	指名候補者数	議決の状況	指名者数	摘要
在宅医療・介護連携コーディネーター育成事業委託業務	委託	/	人 -	全会一致	人 -	
<p>【プロポーザル適否】</p> <p>本事業は、在宅医療・介護連携コーディネーターの資質向上を目的としており、</p> <p>1 在宅医療・介護連携をはじめとする地域包括ケアに関する幅広い知識に基づいた研修事業の企画 2 事業目的達成のための適切な講師の確保 3 相談支援対応能力を向上させるための効果的な研修カリキュラムの作成 4 多数の参加者が受講可能となるような配慮</p> <p>このように、高度な専門的知識が必要であるほか、価格のみをもって契約の相手方を決定し難く、業務の最適な処理方法や成果の水準を、あらかじめ設定できず、契約に係る仕様を具体的に提示することが困難であることから、公募型プロポーザル方式を採用する。</p>						

- 注 1 「契約の名称」は、必要に応じ、事業名、地区名、工区等を付記する。
 2 「契約の種類」は、一般土木、測量、物品購入等とする。
 3 「指名選考基準」欄は、指名選考基準（A～G）に基づき、順次絞り込みを行い、その要件を満たしている者の数を記載する。
 4 「指名者数」欄は、指名選考された者の数を記載する。
 5 「議決の状況」欄は、指名候補者を決定する際の状況を「全会一致」又は「賛成○人、反対○人」等と記載する。
 6 この一覧表には、指名選考委員会で審議した随意契約の参加者の指名選考過程についても記載する。